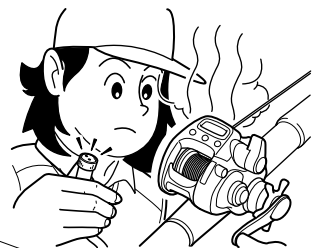
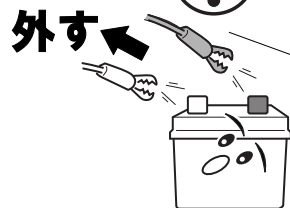


# ⚠ 注意

●こげくさいなど異常時には駆動を停止して、電源を外してください。発熱や発火の原因になります。

電源を外す！



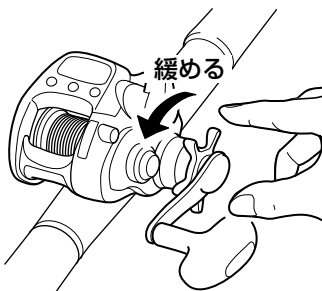
●根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。(手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。)太いハリスをご使用になっている場合、手で持って切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。



けがに注意！



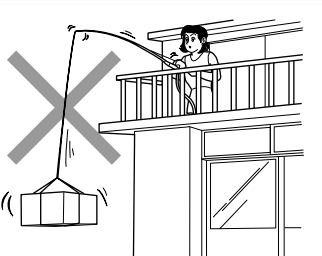
●電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。IC故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



取扱の実施！



●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



目的以外の使用禁止！



●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。



取扱注意！



●塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。

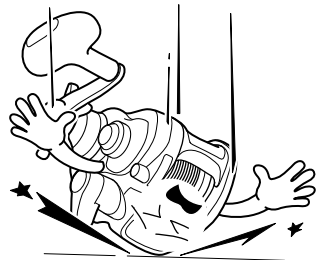


接触禁止！



# ⚠ 注意

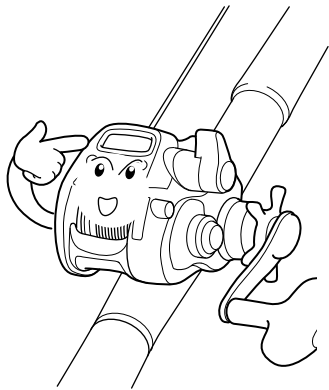
●落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。(外観上には異常が見られなくても故障していることがあります。)



取扱注意！



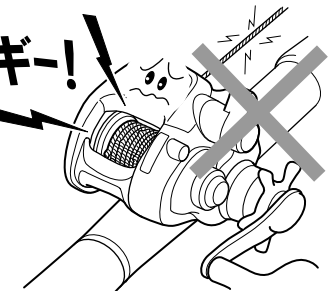
●使用中で、カウンター表示がずれてきたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があったりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。そのまま再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起こる恐れがあります。



操作の実施！



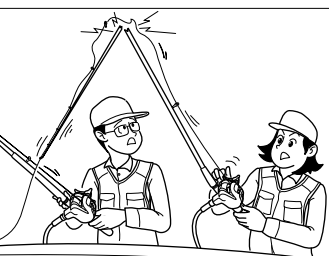
●ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。



使用の禁止！



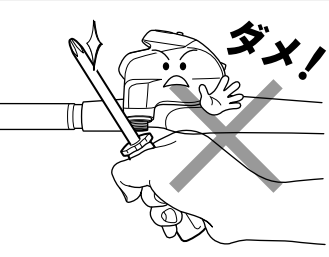
●他の釣り人と仕掛けが絡んだり、根掛かりしたときは、無理に巻かないでください。竿その他を破損する恐れがあります。



取扱注意！



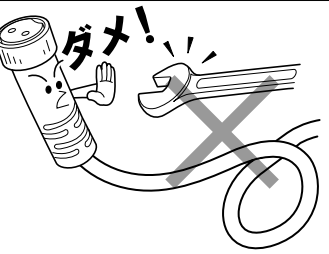
●分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。



改造の禁止！



●コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



改造の禁止！

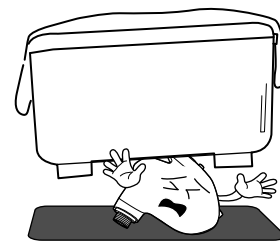


# 取扱上のご注意

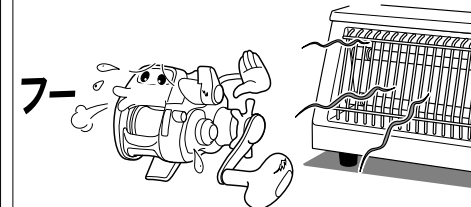
電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

# ⚠ お願い

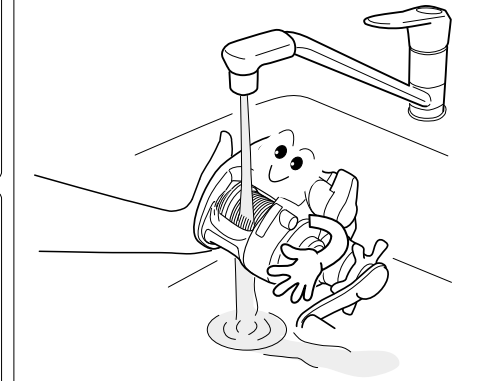
●リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。



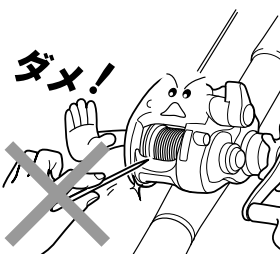
●発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。



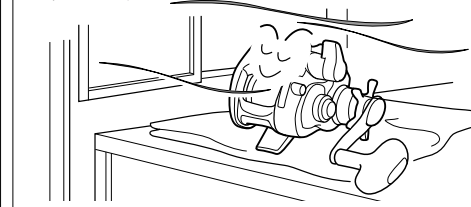
●塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐食する恐れがあります。水道水を糸巻き部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



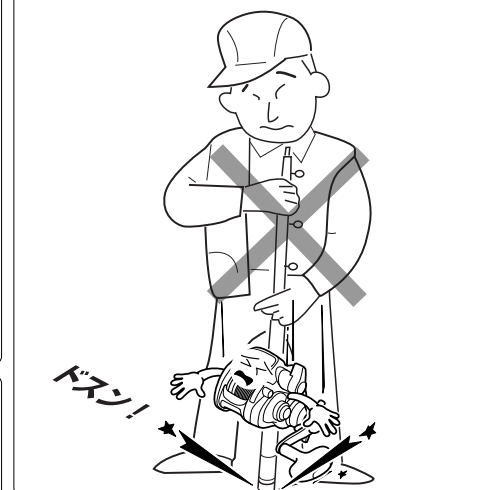
●スプールとフレームのスキマやその他の本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。



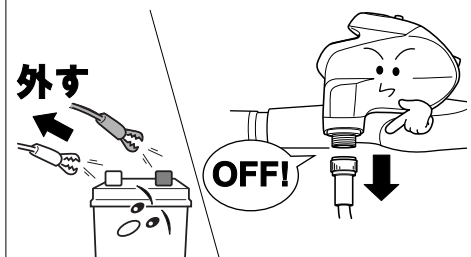
●リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通気性のよい場所に保管してください。また、ドラグを緩めた状態で保管してください。



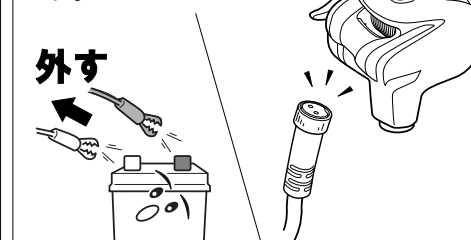
●振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。リールが破損する恐れがあります。



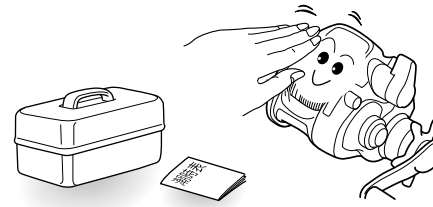
●電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。



●リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。



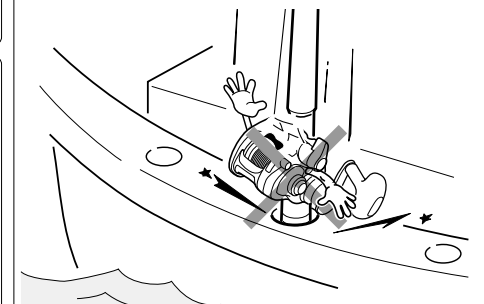
●釣りにお出かけの前には、リールの点検(動作点検)を行ってください。故障によって、釣行に支障をきたすことのないようにするために。



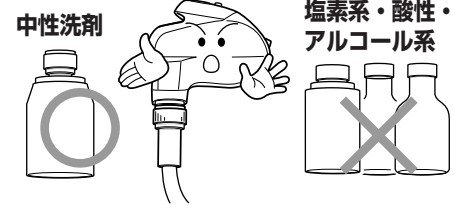
●糸巻き中に布などが巻き込まれないように、ご注意ください。また、バックラッシュ等によりフケタ糸の巻き込みにもご注意ください。



●船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当たる場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



●電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。



●水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。

